

問題

ある新聞に以下の写真と詩が掲載されていました。これらは独立した作品ですが、それぞれのテーマには共通するものがあると考えられます。この写真と詩について以下の問に答えなさい（出典：朝日新聞二〇〇一年九月二二日、夕刊）。

写真家・金村 修



祈り

吉田 文憲

わたしをあふれて  
かなしみは空にふれる  
ここにいて、

この影をどうして燃やしたらいいのだろう、

この夜に

くりかえしくりかえし同じ名を呼んで、くりかえし  
くりかえし行方不明の人をたずねて、

蘇るために、ここにいる

遠ざかるために、ここにやってきた

橋のうえで、

こわれてしまった時を回して、

どんな姿をしてわたしはそこに立っていたのだろうか

書きかけた文字の中で、

だれでもないものの声をたずねて、

水辺に白い精霊たちが下りてくる、

この夜に

【問一】 この写真に一〇字以内の題をつけなさい。

【問二】 問一でつけた題と詩の題「祈り」をキー・ワードにして「現代の社会」という題で八〇〇字のエッセイを作りなさい。  
キー・ワードは何度用いても良いが、最初に出てきたものにはその右に傍線をつけて明示すること。